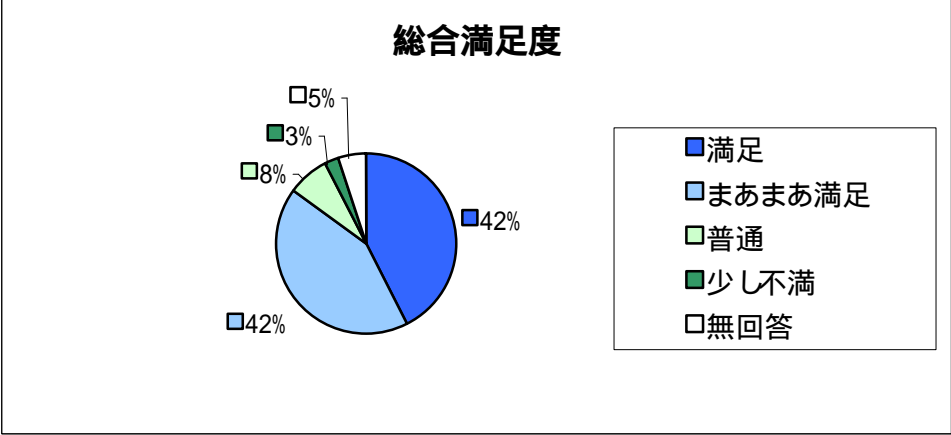


IT先進国・韓国に学ぶ

～韓国のBB（ブロードバンド）事情うらおもて～

日時：平成16年5月30日(日)13:00～16:30
会場：朱鷺メッセ 中会議室
来場者数：約100名



1.主催者代表挨拶 (県総合政策部長 牧野正博)

ここ数年のIT化の進展は目覚ましいものがあり、時代は、いつでもどこでも情報にアクセスできるユビキタス社会へと向かいつつある。
こうした時代の流れは、全世界的なものとなっており、韓国ではブロードバンド普及率が世界第1位という、まさにIT先進国である。
本県においても、今年1月に新潟県ブロードバンドネットワーク構想を策定し、現在、その具体化に向けて鋭意取り組んでいるところであるが、今日は、我が国の一歩先を歩んでいる韓国のIT利活用の状況をはじめ、ブロードバンドの普及による生活の変化、新潟は韓国のどこをどう学べばいいのかなど、今後の我が県の取組のあり方を考える上でも貴重な機会であると考えている。

2.基調講演「韓国のIT事情」～IT強国韓国はBBで何をやっているのか・日韓比較～ 趙章恩(チョウ チャンウン)氏 日韓IT交流会JIBC会長/ITジャーナリスト

アンニョンハセヨ!
新潟は初めてだが、ソウルから飛行機で2時間かからずに来て、すごく近いことに驚いている。
今日は日韓の文化の差からくるインターネットの使い方の違いなどを踏まえながら、こういう風にネットを使うと日本でももっと楽しくなりますよという形で、いろんなコンテンツを紹介したいと思う。



【 韓国の様子を写真で紹介 】

- ・ 全国人口の四分の一以上がソウルに集中しており、そのうち半数以上がマンシヨン等集合住宅に暮らしている。これは、インターネット環境が整備しやすかった理由の一つでもある。
- ・ 韓国では、いたるところに無料で使えるIP電話があり、無料でメールを確認したり、オンラインゲームを楽しむ仕組みになっている。電話も1分程度無料でかけることができる。
- ・ 携帯電話の中にクレジットカード機能を付加した携帯電話での決済も一般的になってきた。
- ・ 家電同士をネットにつないだホームネットワークも年々安価になり、広く普及してきている。
'99年に集合住宅の家庭等に無料で配られたネットパッドにより、家庭でのIT化が進展した。このネットパッド一つでネットやテレビの操作が可能となるほか、アパートの管理所と連絡を取り合ったり、光熱費を確認し、オンラインバンキングでこれを支払ったりすることができるようになった。
- ・ 市役所等での住民票をはじめとした各種証明書の発行は、個人の住民登録票と指紋を機械で確認することにより、スピーディーに行われるようになった。
また、今年からは、個人がネットで証明書等の発行を申請し、自宅のプリンタで印刷することも可能となった。

- ・以前のネットユーザーは、ネットの掲示板に意見を書き込むといったことが一般的であったが、現在は、ブログと個人ホームページとアパタをセットにしたような、HOMPY (ホンピ)が流行っている。
また、ネットで火がついて芸能界にデビューするといった"オルチャン"がブームとなっている。

~なぜ、韓国でブロードバンドが普及したのか~

- ・現在、韓国のブロードバンド利用世帯は76%を超えた。日本も健闘しているが、まだ47.8%である。
- ・韓国政府の目指す姿は、知識情報国家である。知識や情報をみんなが平等に使えるような環境にしたい、これが一番の目標である。政府のデータベース等を全て公開し、透明な行政にすることを目標としている。
政府は、年齢や職業や地域等に関係なく、全ての人々が平等にネットに接続できる環境にするため、'98年頃から、農村の公共施設等に無料でパソコンを設置し、無料でADSLを接続し、誰もが自由に使えるようにしてきた。
- また、韓国の雇用問題は、現在も極めて深刻で、これを回復させるために、また、国際社会の中で、企業、産業が生き残っていくためにはITの活用しかないといった国民の意思統一がなされている。
- ・国民の間にこれほどまでにネットが定着した大きな要因としては、オンラインゲームの流行があげられる。
韓国国民は、競争で勝つことが大好きな人種なのである。
雑誌や新聞も日本の十分の一くらいしかなく、そのため、媒体が少ない分オンラインに集中したとも言える。
もともと情報、娯楽が少なかったこと、競争好きで、自己顕示欲が強い国民性がブロードバンドを普及させたのである。

~ブロードバンドの普及による韓国社会の変革~

- ・小学校から大学まで、ネットを活用した授業が行われており、教師と生徒のパソコンをつないだe-ラーニングが、韓国の教育熱の高さも重なり、急激に普及している。
- ・ネットを利用した犯罪に対しては、最近では、厳しく、即時に対応するようになり、ネットに対する信頼性は高まった。不安だからネットを使わないという人はいない。
- ・デジタル経済・デジタル社会と言われるようになり、組織の多様化とともに若い人の発言力が高まった。
風俗や新たな文化の始まりがほとんどネットによるものであり、企業や政治家はネット上の若者の意見を尊重せざるを得なくなった。
- ・今の韓国のネット社会の課題は、中高年齢者のネット利用率が日本よりずっと低く、そうしたデジタルデバイドの解消が急務とされている。

【韓国のインターネット放送の様子をインターネットで紹介】

- ・この会場に来て、韓国との違いがはっきり分かったのだが、韓国では、会社でもどこでも回線のケーブルが雑草のようこいたところに出ていて、パソコンに差し込むだけですぐにネットが使えるのだが、ここでは、設定に非常に時間がかかってしまった。
- ・韓国のインターネット放送は、テレビの放送が同時にネットでも流れている。ドラマ等の再放送もいつでも見ることができるため、ビデオがいらない。
韓国のテレビドラマは制作しながら放映しているため、視聴者が今後のドラマの展開についてネットの掲示板で意見をのべ、それが番組に反映され、展開がどんどん変わっていく。
言い換えれば、視聴者が番組に参加できるとも言え、これもネットの普及率を上昇させた要因でもある。
再放送を見るには、ダウンロードで1回100円、ストリーミングで見るとは50円等の料金が設定されているほか、台本や予告編なども30円程度で見ることができる。また、テレビタレントのインタビューなども有料のコンテンツとして売っている。
インターネット放送で売れるコンテンツは無限に近い。
- ・インターネット新聞も人気があり、多くの人々が投稿している。
投稿者を記者として扱うことで投稿者のプライドをくすぐり、誰でも記者になれることから人気を得ている。

韓国は、ネットに関しては、恐れずにチャレンジをして、新しいものにどんどんのめり込んでいて、使ってみて、体験してみて、事故があったとしてもそれはそれでいいじゃないかというふうな、大目に見てあげる部分がたくさんあった。

日本でもネットを活用したサービスはどんどん始まっているし、使いたいと思えばいつでも使えるコンテンツがあるので、そういうものをどんどん使うことによって、もっと楽しいネット社会が生まれると思う。

韓国のサイトもたくさん見てみてください。
カムサハムニダ!

【会場からの質問】

- 会場Q 趙さんから見て、日本と韓国では何年くらいの差があるのか？
- 趙さん 技術的に見たら、余り差は無いと思う。しかし、ユーザーの差を考えると5年くらいはあるのではないか。
その理由としては国民性にあると思う。環境が整っていてもそれを使わなければ何も始まらないわけで、日本人は環境が整っていてもそれを使わない。韓国人は整う前から使い始めている。
コンテンツがインフラを引っ張ってきたとも言える。
- 会場Q 韓国の文化が冬ソナに限らず、韓流としてアジアでもはやされているが、対外的な文化発信を上げていくために、様々なコンテンツを英語や中国語などでも発信しているのか？
- 趙さん 最近のドラマや映画は海外の資本を貰ってその国で先に公開するというパターンが多くなった。
翻訳をして持っていくというよりは、一緒に作ろうという考え方で、翻訳して売ろうというよりは、先にその国で人気が出て、後から翻訳して売のような形に今はなっている。
これまでは、他の国で受け入れられるように作っていたが、逆に今は、韓国らしいものを作った方が逆に広く受け入れられるということが分かったので、他の国を意識せず、自然体で作られている。

